

▼宮田の工場でコンテナが当たり男性死亡

信毎

3日午前8時半ごろ、上伊那郡宮田村の廃棄物処理業「イナック」工場内で、フォークリフトからコンテナが抜け落ち、近くでこみを分別していた伊那市西春近の契約社員小松弘さん(62)に当たった。駒ヶ根署によると、小松さんは同市内の病院に運ばれたが、同日午後9時27分、外傷性出血性ショックで死亡した。コンテナはごみ収集用の鉄製で、縦約1.5m、横約2.2m、深さ約1.1m、重さ約250kg。鉄くずや木くずなどが入っていた。同署が事故原因を調べている。